

# パネルディスカッション：装置系次世代育成

---

## パネリスト

- 大金原 (ANU)
- 大宮正士 (ABC)
- 櫛引洸佑 (東京大学)
- 瀧本幸司 (ISAS)
- 津村耕司 (東京都市大学)
- 東谷千比呂 (NAOJ)

# I. 背景説明

---

- 光赤外線のさまざまな観測施設・装置のプロジェクトが提案されています。
- しかし、その開発を担う研究者の高齢化が進んでおり、若手研究者の数が非常に少なくなっています。
- この背景には何があるのか、どのような解決策があるのかを議論できればと考えています。

# もくじ

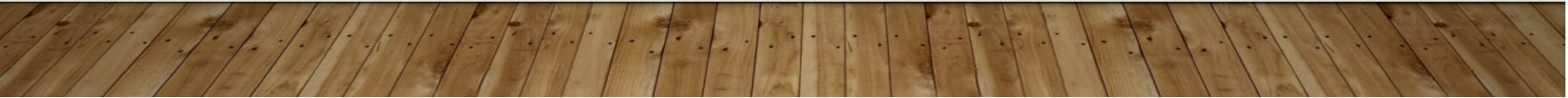
---

## 1. 背景説明

## 2. パネリスト自己紹介

## 3. パネルディスカッション

「装置開発に携わる院生・若手研究者をどのように育成したらいいのか」

- なぜ装置開発を研究テーマとしたのか
  - 開発を研究テーマとすることの面白さ、難しさ
  - 大型計画への関わり方
  - 産業界との連携および人材交流
  - 他分野からの人材流入
- 

# 問題意識

---

- 大金
  - 計画規模の拡大に人が足りていない  
=>多様なバックグラウンド、専門家・エンジニアに入ってもらおう
- 大宮
  - 戦略的に人材育成されているか
  - キャリアの途中で装置開発をやりたくなったら？
  - 夢があるか
- 櫛引
  - 開発系人材をどう評価するか
  - 若手が装置開発に触れる機会を増やす
  - 若い人が少ない、他分野、民間との取り合い
  - 装置開発に対する若手の認知度が低いのではないか
- 瀧本
  - ギャンブル性が高い
  - 若手をどう増やすか：ロケットや超小型衛星は魅力的。ワンオペでできる
  - 大型衛星計画には20-30代では経験がない
  - 産学官連携は拡大強化がいる。
  - 他分野からの流入を望んだとして、誰がくるか？
- 津村
  - 人材育成を目的としたプロジェクトがいる
  - プロジェクト横断的に技術相談できるポストを
- 東谷